

感染症週報 (市内週報 平成21年第4週)

結核・感染症発生動向調査

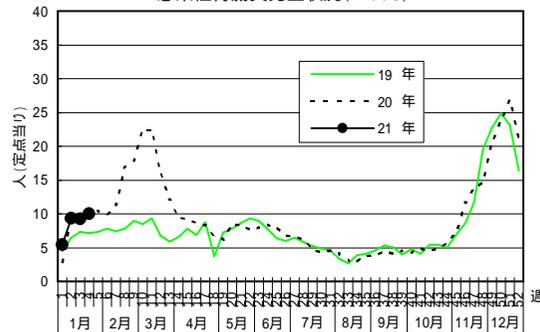
平成21年1月27日

平成21年第4週感染症発生状況【川崎市内】

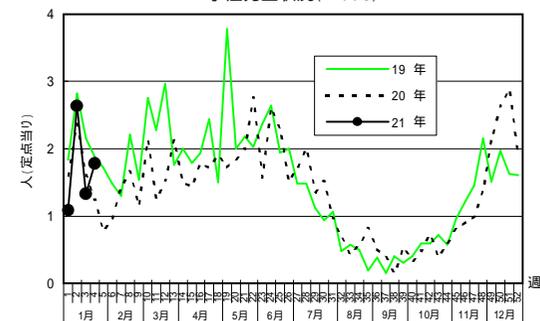
平成21年1月19日～平成21年1月25日

5類感染症(定点把握疾患)	全数把握疾患	届出	累計(平成21年第1週以降)
第4週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ、2)感染性胃腸炎、3)水痘の順となっています。 インフルエンザの報告数が、前週の約1.95倍(報告数2059、定点当たり39.6)となり、流行発生警報基準値である定点当たり30を超えました。学級閉鎖等の報告数も増加していますので、今後もいっそうの注意が必要です。 麻しんの発生報告が1件(年齢群1歳)ありました。	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 7件	結核 18件
	3類感染症	なし	なし
	4類感染症	なし	A型肝炎 1件
	5類感染症	麻しん 1件	急性脳炎 1件 後天性免疫不全症候群 2件 麻しん 2件

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)

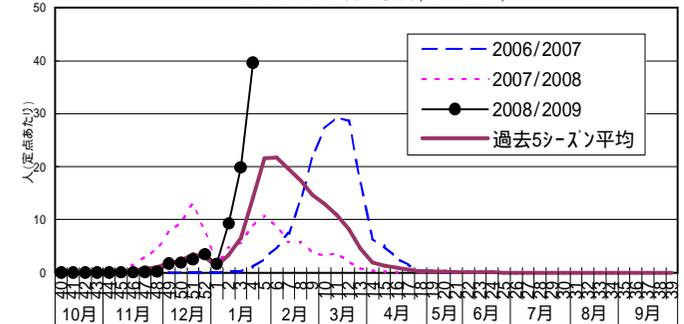


インフルエンザウイルス市内分離状況(累計はH20.10.1以降の累計)

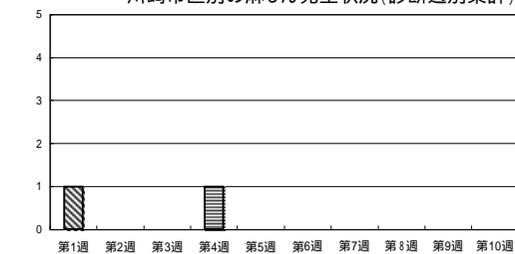
期間	検体搬入数	検査結果				検査中
		陽性			陰性	
		Aソ連型	A香港型	B型		
1/19-1/25	29	8	3	0	0	44
累計	89	22	20	2	1	

インフルエンザ警報の基準:「定点あたり30」以上の都道府県(第3週)
 岡山県、宮崎県、沖縄県
 インフルエンザ注意報の基準:「定点あたり10」以上の都道府県(第3週)
 宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

インフルエンザ発生状況(3シーズン)



川崎市区別の麻しん発生状況(診断週別集計)



- 麻生
- 多摩
- 宮前
- 高津
- 中原
- 幸
- 川崎

H21年麻しん年齢群別発生報告数(診断週で集計)

	4週	累計		4週	累計
0歳	0	0	10-14歳	0	0
1歳	1	2(1)	15-19歳	0	0
2歳	0	0	20-24歳	0	0
3歳	0	0	25-29歳	0	0
4歳	0	0	30-39歳	0	0
5歳	0	0	40-49歳	0	0
6-7歳	0	0	50歳以上	0	0
8-9歳	0	0			

()内の数字は予防接種歴有の人数

